

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分が利用者だったら」を常に考えたサービス提供を理念とし、住み慣れた地域で自分らしく生活できる施設作りを目指している。	○ サービス提供を受ける側の気持ちになり、そつと寄り添うケアの実践に努めていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設内数ヶ所に掲示し、全体会議等で話し合い、確認している。また日々の業務の中で理念が活される様職員それぞれが、目標を持って実践している。	○ 理念を共有し、理念の実践に日々取り組みケアプランに沿った支援支援を行なっている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会、運営推進会議開催時及び面会時等にて理念を説明、理解、協力を得られるよう努めている。地域活動にも積極的に参加し、地域交流を深めている（保育・学校・地域等の行事参加）	○ 地域活動に積極的に参加し、地域交流を深める中で理念の浸透をより深めたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の住民の方から野菜や果物等を頂戴したり、又施設にて作ったお菓子等をお届けしたり、気軽に立ち寄って頂き、日常的なお付き合いをさせて頂ける様になってきている。	○ 今後も気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気づくりに努めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事等がある場合には声をかけて頂き、可能な限り参加し、交流を深めるよう努めている。運動会行事等ご利用者さんと共に参加させていただいたり、地域の行事にもご利用者さんと一緒に参加している。	○ 地域活動に積極的に参加し、地域交流を深め、理解を得られるよう努めていきたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	問い合わせ、相談等に対して関係機関と連携し、適切な対応を行なっている。	○	必要時には関係機関と連携し、問い合わせ、相談等に対しては迅速に対処出来るよう努めていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行ないサービスの質の向上に努め、外部評価の結果に対しては真摯に受け止め、早期の改善に努めている。	○	定期的に自己評価を行ない、サービスの質の向上に努めていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて頂いた意見、要望について真摯に受け止め、サービスの質の向上に努めている。	○	頂いた意見、要望については迅速に対処し、サービスの質の向上に努めていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	各種報告以外にも市担当者と連絡を取り、密接に連携している。	○	今後も密接に連携していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見制度共に利用者があり、その利用の際に必要な支援を行なった。	○	今後も必要時には関係機関と連携し、支援を行なっていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内外の研修に参加し理解を深め、職員全員で見過ごす事のないよう注意し、防止に努めている。職員が互いに注意し合える雰囲気作りに努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	受け付けた苦情や相談に対しては、迅速に対処し、早期改善に努めていきたい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	○	心身の変化の有無に拘らず定期的な報告をし、ご家族とのより良い関係づくりを目指したい。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	受け付けた苦情、相談については迅速に対処し、早期改善に努めていきたい。また、結果についても報告している。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1名の離職と1名の移動があったが、引き継ぎの期間を十分に取りご利用者のご家族にも十分な説明を行った事で、スムーズに移行出来た。	○	職員の離職等の際には、利用者及びその家族に対して説明を行ない、負担にならないよう配慮を行なう。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修等に全ての職員が参加出来るよう調整を行ない、介護従事者としての質の向上に努めている。研修後は研修報告書を作成し、全体会議時に必ず発表させている。	○	研修報告に関しては全体会議時に報告、全ての職員が閲覧出来るようにしている。また、個人面談の場を設け、常に目標や達成の聞き取りをしている。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と互いの施設での実務研修、交流会を行ない、ネットワーク作り及びサービスの質の向上に努めている。また定期的に勉強会への参加をしている。	○	今後も随時交流、勉強会の機会を持ち、サービスの質の向上に努めていきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員からの相談等を聞く機会を持ち、働きやすい環境づくりに努めている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務態度、実績を評価し、向上心を持って働ける環境づくりに努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	随時施設見学をして頂き、入所される際には体験入所をご利用頂き、ご本人の希望、要望等について十分な聞き取りを行ない、安心してご利用頂けるよう努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	随時施設見学をして頂き、ご家族の希望、要望等について十分な聞き取りを行ない、安心してご利用頂けるよう努めている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	受け付けた相談に対して迅速に対処し、必要時には関係機関と連携し、適切な対応を行なっている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	随時施設見学をして頂き、入所される際には体験入所をご利用頂き、納得されたうえで入所して頂くよう配慮している。	本人が安全で安心した穏やかな生活をしていただく支援をしていく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご利用者の負担とならない範囲で、家事等での活躍の場を提供し、職員はそっと寄り添いながらお手伝いし、信頼関係の構築に努めている。	職員は寄り添いケアの実践と、一緒に楽しいことや悩みも共に共感できるように努めている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的に本人のやりたい事、やれる事、やってみたい事を日常会話の中から引き出すよう努めている。意向を伝えられない方には選択出来るようにしたり、ご家族からの情報や協力を得ている。	○ 日常的に小さな気付きに注意しながら、本人の希望や意向の把握に努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○ 会話の中から把握したり、家人面会時や他施設利用状況、サマリにて把握に努めている。また家族会の場で協力を得ている。	○ 家人面会時に思い出の写真や馴染みの品等を持参頂いたり、コミュニケーションの中から生活歴や暮らし方の把握に努める。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○ 毎日の申し送りにより職員全員が把握出来るようにしている。又急変時、特変時は随時報告している。又職員会議時に特に周知徹底を行なっている。	○ 心身状態の変化を見極め、迅速且つ臨機応変な対応が出来るよう努める。特に急変時の対応の周知徹底を行なう。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月2回のケアカンファレンスを開催し、本人、家族からの希望を聞いている。ケアのあり方については、その都度ご利用者に合ったケアを臨機応変に対応し、その情報を職員全員が共有している。	面会時や電話での報告や意見は聞いているが、カンファレンス参加が非常に難しい。参加がしやすいように日程の調整を行なっていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○ 状態変化があった場合は、ケアカンファレンスを開催し、本人家族相談の元介護計画の見直しを迅速に行なっている。状態変化や心身機能低下に変化が認められないケースについては、継続する事もあるが、現状に即したサービス計画書作成を行っている。	○ 毎日、日中及び夜間のケアプランを評価し、申し送り時に報告している。小さな気付きをプランに生かしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別にケース記録を記入し、日々の活動や生活状況、心身状態を詳しく記録している。又情報を共有し日々の実践や介護計画に活かしている。	○	記録の記入方法や内容、書き方について日々見直し、介護計画に活用していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望、要望に出来る限り柔軟な対応を行なっている。外出、外泊においても出来る限りの支援を行なっている。	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人や家族の意向、必要性に応じて関係機関と協力し支援を行なっている。	○	ボランティアによる支援活動の拡大や実習生の受け入れを通じ、地域活動への参加や交流を持ちたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人や家族の意向や希望が無い為現時点ではサービス活用はしていないが、地域や地域外のケアマネジャーのネットワーク作りに努めている。他施設との職員交換研修やケアマネジャーとの意見交換や情報交換を行なっている。	○	他施設との情報交換や研修、ケアマネジャーとの話し合いの場の拡大に努めていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護事業の活用を行ない支援している。長期的なケアマネジメントについても随時行なっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	管理医との連携に努め、本人及びその家族等の希望に副う適切な医療を受けて頂き、必要時、病院の受診が出来る支援を行なっている。また、通院の方法や結果についても、本人・家族と話し合いを行っている。	○	病院及び医師との連携強化に努め、希望時や緊急対応時にも適切な医療を受けられる支援をしている。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	管理医により毎週金曜日に訪問診察を受けている。又夜間でも往診して頂いている。必要時には相談、指示を受けている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者を良く知る看護師と報告、連絡、相談をしながら支援を行なっている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合、本人及びその家族に契約の取り扱いについて説明し、安心して過ごせるよう配慮している。又本人の状態について病院関係者と連携し、情報交換や相談に努めている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現時点で医療体制が整っていないので、医療が必要な重度のご利用者や終末期ケアに関しては、現状では全員で方針を共有していない。	○	重度化やターミナルケアに拘らず、本人及びその家族が希望する限り施設全体で取組んでいきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	管理医との話し合いや本人及びその家族への説明は行なっている。しかし、現時点での医療体制が整っておらず、チームでの支援は行なっていない。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人及びその家族に関わるケア関係者と情報交換や意見交換を行ない、十分納得のうえでのダメージ防止に努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけに対して十分な配慮を行なっている。又個人情報の取り扱いには十分に注意している。声かけや対応が不適切な時はその都度注意し、職員がお互い注意し合える体制作りに取り組んでいる。又、ミーティングや勉強会を通じて意識向上を図っている。	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者からの希望は日常的に聞くよう働きかけを行ない、要望や訴えが言いやすい雰囲気づくりを行ない、個別に対応している。食事面では、選択メニューを作り一人ひとりが自分の意思で選べるように見本を元に選んで頂いている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	緊急性、優先しなければならない事柄もあるが、出来る限り個々のペースに合った生活を送って頂いている。朝の起床時間は特に決めておらず、覚醒された方より、モーニングケア介助を行っている。	○	職員の都合によりご利用者にご迷惑をおかけする場合には、十分な説明を行ない、時間の配分や業務内容について改善を図る。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人及びその家族の希望に副った身だしなみの支援を行なっている。理美容のための外出は、十分な時間配分や人員配置に注意し、その人らしい身だしなみの支援や希望する理美容店への支援を行っている。現在5箇所の理美容店の利用を行っている。	○	老人だから、施設だからしないのではなく、その人らしいおしゃれをして頂けるよう本人及びその家族と話し合い、おしゃれをして頂きたい。又ご自身で出来ない方には、職員が支援していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>時間のやりくりをし、ご利用者のペースに合わせた食事作りをしていきたい。少しでも出来る事をして頂ける工夫をする。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>リビング内へ飲み物の設置を試みたが、ご自身の飲茶を楽しまれる事は難しく、また、小さなトラブルが続き、ご利用者のほうから「姉ちゃんらが出してや」との声が多く、その都度希望に応じた飲み物を提供している。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>排泄チェック表により排泄のリズムを把握し、個々に合った声かけや誘導を行ない、不安なく生活して頂き、夜間については安眠出来るよう支援を行なっていきたい。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>就寝前の夜間入浴についても検討していきたい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>特に炊事が出来る方には、食事の準備から片付けまで参加して頂き、一緒に行なうよう心掛けています。また、終了時には、必ず労いの言葉をおかけしている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方には所持して頂いている。又自己管理が出来ない方については、買い物等のお支払い時にお渡しし、自己にてお支払いをして頂いている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に外出の希望を伺い、希望に副うよう支援している。又外食の機会を設け、希望される場所に食事外出している。ご利用者の希望により散歩や買い物に常に出掛けている。		施設内と環境が異なり、転倒等の事故のリスクも高くなるため、職員体制や急変時の対応についてチームケアの周知徹底を図りたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	出来る限りご利用者及びご家族の希望に副った支援を行なっている。仲良しの友人との交流の場を設け出掛ける意欲を高め機会作りに努めている。	○	家族会にも協力して頂き外出の機会を作り、ご家族との思い出作りの支援を行なっていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば随時対応を行なっている。ご家族の希望も把握し、時間帯や携帯電話の番号も把握し、支援させて頂いている。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気づくりに努めている。またグループホーム通信にて活動予定のお知らせを行い、参加や訪問がしやすいように努めている。	○	訪問し易いよう行事予定等を事前にお知らせしている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「禁止の対象となる具体的な行為」の内容を理解し、勉強会等を行ない、全職員の周知徹底に努めている。	○	「身体拘束をしないケア」について、これからも研修や勉強会を通じ意識を高めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上大きな門は毎日夕食時に閉め、自動ドアで常に開放された状態である。夜間19:00～7:00までは夜間体制と防犯のため施錠している。ご利用者の行動パターンを把握し希望を察知できるよう努めている。	○ そっと寄り添うケアの実践により施錠は必要でなくなる。一人ひとりの生活パターンの把握に努めている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常にご利用者9名の所在確認及び安全確認を行なっている。居室で過ごされているご利用者についても巡視や声かけ見守りを行なっている。	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご利用者のADLや心身状態、一般状態を考慮し対応している。危険物、刃物、薬等は職員がいな時は施錠し保管している。	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のための全体会議やリスクマネジメント会議をその都度行なっている。事故報告やヒヤリハットについてもその都度話し今後の対策を検討している。	
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	「緊急時対応マニュアル」により、急変時や事故発生時に対応出来るよう訓練を行なっている。又必要時には医師・看護師等の指示や専門的知識の勉強会を行なっている。	○ 「緊急時対応マニュアル」の周知徹底と、臨機応変な対応が出来るよう常に訓練を行ないたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルに基づき定期的に各種団体、近隣の方々に参加頂き地域の人々の協力を得られる働きかけを行なっている。	○ 定期的な避難訓練だけではなく、日頃より災害対策について意識を高めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所時にご家族に説明を行なっている。又心身機能の変化がみられた場合、その都度報告し、面会時などには、家族と再度話し合っている。	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常にご利用者の小さな気付きに目を向け、体調管理の発見に努めている。又体調変化が起きた場合、管理医に報告、指示に従っている。また家族への報告を速やかに行い、管理医の指示に従った対応を行っている。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や個人別お薬見本帳を作成し、ご利用者一人ひとりの服薬管理を行なっている。また、散薬のムセに対しては湯ましゼリーを使用し、服薬の支援を行っている。	○ 既往歴や現状の心身状態の把握を常に行ない、薬に対してはお薬説明書の活用により効果や副作用についても学んでいきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事メニュー作成時に繊維の豊富な食材を取り入れるなど便通に配慮している。また朝の体操時には出来るだけ身体を動かす楽しい体操を実施している。	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後は必ず歯磨き、うがいを本人の状態に合わせた支援にて行ない、口腔内の清潔保持に努めている。又年一回の歯科検診にて状態の把握に努めている。	○ 義歯の不具合による咀嚼や嚥下、誤嚥に注意し、自歯の方に対しては、出来る限り一本でも多くの歯を残せるよう支援していきたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表・水分排泄チェック表の活用により、栄養バランスや水分確保の支援に努めている。ご利用者の状態により、硬さや大きさや能力に応じた、調理を行い、提供している。	○ 毎月第2、第4日曜日に栄養献立会議をご利用者、職員と一緒に、分量や好み、個々の状態に合っているか話し合っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対応マニュアルに基づいて実行している。又予防や対応について保健所等より情報を得ている。感染予防の研修参加に努めている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等はハイター消毒やアルコール消毒を行なっている。又新鮮で安全な食材を自分達で購入し、定期的に賞味期限や食材チェックを行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中帯においては、門・玄関は常に開放している。防犯上夕食前には門の施錠を行っている。	○	外から見えなくならないように垣根の剪定を定期的に行なっている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング、食堂、居室の窓から外の景色がいつでも見ることが出来る事により、季節を感じて頂き一日の時間の流れを感じて頂ける。またリビング壁面には、季節に応じた壁面作りをご利用者と一緒に行っている。	○	共有空間には季節に合った壁面づくりや、ご利用者が作られた作品等を展示している。また、不快な音に対しては、職員各自が注意している。居心地よく過ごしていただける環境作りに努めている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファ席以外にもお独りでも座れる場所の確保とイスの設置を行ない、居場所の工夫をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	またご利用者及びご家族と相談し、馴染みの品やお仏壇、以前に手作りされた物等の持ち込みをして頂き、居心地良く過ごして頂けるよう努めている。また思い出の写真や活動時の写真を飾っている。		家族面会時には、ご利用者と一緒に居室の整理をしていただいている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	施設内各所に、温度計・湿度計を設置しご利用者の状況に応じた温度調節に努めている。冬季においても、こまめな換気を行っている。		暖房及び冷房使用時には、1～2時間に一度は窓を開け、換気を行なっている。また、臭いに対しても随時換気をおこなうように心掛けている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	スロープや手すりの設置、又身体機能に合った車イスや歩行器・机・イス・ターンテーブルの提供を行ない、自立した生活の支援を行なっている。		身体機能に合わせて、お一人お一人に合った環境作りを介護計画に反映できるよう取り組んでいる。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱を防ぐために一人、ひとりが理解しやすい表示の工夫をしている。例えば、トイレ、お手洗い、お便所と言うように目線にあった高さ表示にも配慮している。排泄パターンを把握し、さりげない声かけにて、誘導を行っている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周りを散歩したり運動出来るよう芝生の植え込みをし、ご利用者が楽しめる工夫をしている。又屋外にもイスの設置をして、自由に楽しめる工夫をしている。また、敷地内の畑を利用し、季節に応じた、野菜や、果物をご利用者と一緒に育てている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

介護予防運動やレクリエーションとして独自の体操メニューを作り、毎日体操の時間として行なっている。手ぬぐいや鳴子などの用具を使用し、職員と共に楽しみながら身体を動かしている。施設であるが、あくまでも家庭的な雰囲気の中で普通の生活を送って頂ける支援を行なっている。カラオケや外食、買い物等も時間にしばられる事なく外出出来るよう家族、地域住民の協力を頂き行なっています。今後ご利用者が生き生きと生活し易い環境作りと支援を行なっていきます。